

護持

護持 (月刊)
発行所
本派本願寺ハワイ別院 1727 Pali highway,
Honolulu HI, 96813
Tel: (808)536-7044
E-Mail:
hibetsuin@hawaii.rr.com



初瀬部唯可開教使

こんにちは。護持をお読みの皆さま、如何お過ごしでしょうか？7月といえはお盆シーズンの到来ですね。子供の頃は、ちようど今頃は夏休みで、スイカでも食べながらのんきに過ごしていたなあと思ひ出されます。私もこの年になってくると、人との別れが毎年毎年どんどん増えてくるのを感じます。皆さまも、多くの方とお別れをされてきたことと思ひます。

このお盆の時期、老いや病、また死別の苦しみは、お釈迦様のおっしゃったように、世界に生きるどの人にも変わらぬ訪れてくるのだと改めて思わずには

いられません。時として、この先に訪れるであろう死別や自身の死、老いや病について考えると、未来は苦しみで真つ暗闇な気すらします。先日、ある冊子を読んでいますと、「この世界は、決して忌み嫌われるべき世界ではありません。火宅無常の世界であり、煩惱具足の身であることにかわりはありませんが、そのことが阿弥陀仏の本願に値遇することのできる何よりの機縁だったのです。」とありました。火宅無常とは、燃える家のように移り変わっていくこの娑婆世界を指し、煩惱具足とはいかり、ねたみ、執着などの心を具えた自分という意味です。確かに、この世界が苦しみしかないのであれば、この世界は忌み嫌われる場所でしょう。しかし、苦しみの元である煩惱を消すことはできませんが、その苦しみや悲しみ、痛みこそが、阿弥陀様の願いに出遇わせていただく何よりの縁ですよとこの一文は教えてくださっています。

日々の暮らしが平穩無事であるならば、もしかして考えることすらできなかったかもしれない事を、苦しみ、悲しみ、怒り、ねたみは教えてくださっています。それは断ち切ることで自分自身の煩惱です。親鸞聖人は、そのどうしようもない迷い、苦しみを持つその人こそ、阿弥陀仏の救わんとしている目当てであるのですよと教えてくださっています。どうぞお盆の法要、また通常の日曜礼拝にもぜひ足を運びになれるように念じます。

7、8月のご案内

7月3日(日) お盆法要

ご講師 高橋和法先生

8時 日本語 10時 英語

7月11日・15日(月・金) BSC夏季仏教講座

8月11日(木) はわいべつりんごるふとーなめんと
ハワイ別院ゴルフーナメント
詳しくは事務所までご連絡をお願いいたします。



だい かいぶつきょうせいねんれんめい たいかい まういとう
第59回仏教青年連盟 (Jr. YBA) 大会 マウイ島



べついんぼんだんす ありがとう
別院盆ダンス 有難うございました。

はわいべついんしゃんかん
ハワイ別院写真館



しまいとし ちがさきし ほうもん
姉妹都市の茅ヶ崎市からのご訪問



だい かいかいきょうしかいせみな じょうげ
第58回開教使会セミナー 上下



いいんかい セミナ
Compassionate Care委員会のセミナー



こんかい ご じ がつ がつ いっしょ つぎ ご じ
今回の護持は7月と8月が一緒です。次の護持は
がつごう
9月号です。

盆のお参りについて

昨年さくねんに続いて、次つぎのように週末しゅうまつに合同ごうどうのお盆参りぼんまいをお勤めつとします。亡なき方かたを偲しのび、思おもう縁えんを通とおし、私わたしたちに届とどいている仏さまほとけの願ねがいを共ともに聞きかせていただきましよう。

合同お盆参り礼拝

7月16日がつ じちにち（土ど） 午前10時ごぜん じゅうじゅう、午後5時ごご じゅうじ

7月23日がつ じにち（土ど） 午前10時ごぜん じゅうじゅう、午後5時ごご じゅうじ

合同初盆参り礼拝

7月17日がつ じちにち（日にち） 午後5時ごご じゅうじ

7月24日がつ じかにち（日にち） 午後5時ごご じゅうじ

別院べついんオフィスへ、お参りまいされる礼拝らいはいの時じ

間かん、曜日ようびを事前じぜんにお知しらせください。

また、家族かぞくだけでのお参りまいもお勤めつとさせて

いただきます。詳しくは別院べついんオフィスまで

ご連絡れんらくをお願いねがいたします。

お盆 お釈迦しゃかさまの生徒せいとである目連もくれんが、亡なくなったお母かあさんが地獄じごくにいるのを見つみけました。自分じぶんの力ちからでは何なにもできず、仏ほとけさまとその生徒せいとたちにお供そなえをすることでお母かあさんは地獄じごくから救すくわれました。目連もくれんは嬉うれしくて踊おどりました。これが盆ぼんダンスのはじまりと言いわれています。皆様みなさまのお母かあさん、お父とうさんはいまどこにいますか？また亡なくなった方はなかたにをして、どこべーじにいるのでしょうか。（4ページに続つづく）

熊本くまもとの地震じしんの被害ひがいにあわれた方々かたがたへのご寄附きふをいただきまして有難ありがとうございました。別院べついんで集あつまったのは合ごう計けいで7335ドルです。被害ひがいにあわれた方々かたがたを助たすけるための活動かつどうに使つかわれます。ご協きょうりょく力を有難ありがとうございました。これからもできることをさせていた
 だきましよう。

浄土真宗の救いのよろこび

阿弥あみ陀だ如来にょらいの本願ほんがんは かならず救すくうまかせよと 南な無な阿あ弥み陀だ仏ぶつのみ名なとなり たえず私わたしによびかけます
 このよび声こゑをききひらき 如来にょらいの救すくいにまかすとき
 永遠とわに消きえない灯火ともしびが 私わたしの心こころにともります
 如来にょらいの大だい悲ひに生いかされて 御恩ごおん報謝ほうしゃのよろこびに
 南無阿弥陀仏なまあみだぶつを称となえつつ 真実まことの道みちを歩あゆみます
 この世よの縁えんのつきるとき 如来にょらいの浄土じょうどに生うまれては
 さとりの智慧ちえをいただき あらゆるいすくのちを救すくい
 ます 宗祖しゅうそ親鸞しんらん聖人しょうにんが 如来にょらいの真実しんじつを示しめされた
 浄土真宗じょうどしんしゅうのみ教おしえを共ともによろこび広ひろめます

伝灯奉告法要のご案内

親鸞しんらん聖人しょうにんより続つづく浄土真宗じょうどしんしゅうのみ教おしえを、第25代だい だい専せん如にょ門主もんしゅ様が受うけ継つがれました。その法要ほうようが本願寺ほんがんじで開ひらかれます。海外指定かいがいししていの法要ほうようがあります。法要ほうようのほかかんこうに観光くわんこう、真宗しんしゅう関連かんれんの歴史れきしある場所ばしょへの訪問ほうもんを含ふくめた一週いっしゅう間かんほどの旅行りょこうです。詳しくは
 初瀬部はせ開教使かいきょうしまで。

法要日ほうようび 2017年3月31日ねん がつ にち

『拝読はいどく 浄土真宗じょうどしんしゅうのみ教おしえ』より

